

「県政 150 周年記念」地引き網漁業体験レポート

雨もなく晴天に恵まれていましたが、台風 25 号が暴風域を伴って日本海を北東に進むなか、台風の中心部からは離れているにもかかわらず、強風のなかでの地引き網漁業体験となりました。



まずはお世話になる漁協のみなさんにあいさつ。作業に入る前に、漁師のおじさんから地引き網の仕組みと、網を引き上げる際の注意点などの説明がありました。



やがて船がやってきて網を仕掛け、いよいよ作業開始！

2 チームに分かれ、網の両端のロープを引っ張ります。

ずしりと重い網は大漁の予感!?

タイミングを合わせながら引き続けていると、沖の方に見えた網の先端が浜に近づいてきます。



引き上げると立派なハマチやタコの姿が！
ほかにもチヌ、カワハギなどたくさんの魚たちが。
見事な大漁ですが、そのままでは食べられません。
ということで、今度は魚をさばく作業へ。
包丁を持つので、ケガしないように気をつけて



ウロコをとって、頭を落として、はらわたをとり除いて…。
子どもたちは跳ねた魚に驚いたり、タコの動きと触った感じを気味悪がったりと、最初はおっかなびっくり。でも、保護者のみなさんと一緒に包丁を動かしているうちに手つきも慣れてきて、中には板前さんのような手さばきの器用な子も。



そしてお楽しみ、自分たちで獲ってさばいた魚をバーベキューに。魚は新鮮そのもので、ごはんは淡路の地元米。

食べているのはさっきまで目の前で元気に泳いでいた魚。



命を「いただく」という意味を学ぶ、良い機会にもなったようです。

この体験を通じて豊かな海の恵みを実感して、お魚をもっともっと好きになってくれたら嬉しいですね。



強風の影響で神戸・淡路・鳴門道の「洲本 IC～鳴門 IC」間が通行止めとなっており、明石海峡大橋も通行止めが予測され「みかん狩り体験」は中止とし、地引き網漁業体験、調理体験、魚のバーベキュー体験・鮎原米の試食で体験事業を終えました。

皆様おつかれ様でした。



みかん狩りが出来なくて申し訳ありませんでした。